

平成28年度関東倶楽部対抗第1ブロック大会 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 16倶楽部・96名)

期日：6月21日(火)

場所：藤岡ゴルフクラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:45	篠原 寿	伊香保国際	三母 英二	日本海	都丸 光二	赤城	関矢 勝	石地シーサイド
2	7:54	星野 均	越後	清水 邦彦	米山水源	田村 敏明	小千谷	梅澤 吉朗	初穂
3	8:03	宮沢 重夫	松ヶ峯	浦野 由和	湯田上	関口 茂	赤城国際	猿渡 猛	JGM高崎ロイヤルオーク
4	8:12	柿沼 修	藤岡	金井 正善	太田双葉	福原 晋平	十日町	大和田 康夫	草津
5	8:21	清田 貴夫	赤城	杉山 茂	伊香保国際	八重田 政幸	越後	佐藤 正明	小千谷
6	8:30	齋藤 順一	赤城国際	滝沢 孝行	松ヶ峯	元木 幸治	藤岡	馬場 勝	十日町
7	8:39	生居 慎司	日本海	小林 誠二	石地シーサイド	古澤 一義	米山水源	小林 正雄	初穂
8	8:48	岡崎 行雄	湯田上	小野里 篤雄	JGM高崎ロイヤルオーク	大澤 康宏	太田双葉	大島 司朗	草津
9	8:57	高橋 明宏	小千谷	北村 和秋	石地シーサイド	狩野 又男	伊香保国際	山宮 秀一	湯田上
10	9:06	滝沢 信夫	草津	佐藤 省吾	藤岡	新村 照平	日本海	江口 亨一	越後
11	9:15	植田 浩二	初穂	木村 延久	赤城国際	森島 孝雄	太田双葉	千明 直一	赤城
12	9:24	阿部 勉	米山水源	中曽根 芳雄	松ヶ峯	小池 敏幸	JGM高崎ロイヤルオーク	小林 良一	十日町

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
13	7:45	浅野 基和	伊香保国際	松井 源太	越後	横川 修平	松ヶ峯	飯塚 裕一	藤岡
14	7:54	目黒 学	日本海	横田 秀国	米山水源	阿部 祐希	湯田上	遠藤 英夫	太田双葉
15	8:03	白石 哲也	赤城	星野 純一郎	小千谷	関 徹也	赤城国際	鈴木 史敏	十日町
16	8:12	長谷川 剛広	石地シーサイド	阿部 政則	初穂	小見 康雄	JGM高崎ロイヤルオーク	滝沢 信也	草津
17	8:21	佐藤 由之	米山水源	有賀 正起	伊香保国際	山田 裕之	赤城国際	関 英将	草津
18	8:30	野上 文範	小千谷	渡辺 泰一郎	日本海	橋爪 義典	JGM高崎ロイヤルオーク	飯塚 均	赤城
19	8:39	内山 嘉雄	松ヶ峯	二村 一字	藤岡	柄堀 治	石地シーサイド	星野 博	初穂
20	8:48	松島 明仁	太田双葉	堀 安男	越後	坂田 稔洋	湯田上	内山 洋一	十日町
21	8:57	土田 恭章	藤岡	佐藤 秀明	小千谷	永田 礼義	日本海	井草 洋一	伊香保国際
22	9:06	井川 智一郎	初穂	大倉 一浩	太田双葉	澁澤 健	赤城	甲崎 仁	松ヶ峯
23	9:15	山田 秀喜	十日町	佐藤 信行	石地シーサイド	堀 文明	湯田上	小藤 昭次	草津
24	9:24	上田 昭	越後	江藤 勉	赤城国際	金子 満	米山水源	廣瀬 光成	JGM高崎ロイヤルオーク

競技委員長 星野正治

平成 28 年度 関東倶楽部対抗第 1 ブロック大会

開催日：6月21日(火)

開催コース：藤岡ゴルフクラブ 東コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2打」とする。

ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ウォーターハザード (規則 26-1)
ウォーターハザードは黄杭または黄線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
- 動かさない障害物(規則 24-2)
 - 排水溝
 - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - 黄黒の縞杭(本競技には適用しない)
 - 道路に隣接するわだち(その道路の一部とみなす)
- ホールとホール間の白杭
現にプレーしているホールの白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
- 防球ネット
防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときには、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
- 高圧送電線
14 番ホールにおいて球が高圧送電線に当たった場合は、そのストロークを取り消し、ゴルフ規則 20-5 にしたがって罰なしに再プレーしなければならない。その球をすぐには取り戻せない場合は、別の球に取り替えることができる。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	451	329	141	350	395	366	151	399	487	3069
BクラスYards	451	340	141	361	417	381	167	414	505	3177
Par	5	4	3	4	4	4	3	4	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
437	167	320	395	130	475	386	330	497	3137	6206
462	192	335	410	152	495	400	330	512	3288	6465
4	3	4	4	3	5	4	4	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 6 コイン(150 球)を限度とする。

競技委員長 星野正治